



開放型自然劇場・長走風穴館

大館の産業遺産



なが ばしり ふう けつ
長 走 風 穴

市街地から北へ約15km、国道7号沿いの矢立地区長走地内に国指定天然記念物・長走風穴高山植物群落があります。標高がわずかに60〜180mでありながら、標高1,000m付近と同様の高山植物が20数種類群生していることで有名です。

この高山植物は、国見山（標高453.9m）から崩落した石英安山岩がたい積し、そのすき間から冷気が吹き出す（累石型風穴）ことから群生しているもので、外気温が30℃前後となる真夏であつても5〜6℃の冷気が吹き出しています。

この風穴は長い間「化け物屋敷」と呼ばれていましたが、天然の冷蔵庫として着目したのが由利郡大内町出身の佐々木耕治氏です。明治35年から9カ年、温度測定をす



るなど風穴の解明とその利用方法を研究。明治45年、風穴を利用した倉庫を建設して農産物の貯蔵を可能にしました。雪と氷以外に低温技術のなかった時代に、この風穴倉庫は7棟作られ、リンゴの収容量は1万箱（約200トン）に達したと言われています。

平成10年4月、風穴倉庫などを利用した長走風穴館がオープンしました。風穴現象、高山植物群落、冷蔵庫としての利用の歴史などを実際に体験し自然の驚異を身近に感じられるこの「開放型自然劇場」に、4年間で約15万人のかたが訪れています。

風穴館からは高山植物群落を観察できる観察デッキへと渡り廊下が続き、また、天然の冷蔵庫として利用された風穴倉庫も一部が現存し往時がしのべれます。高山植物が気軽に楽しめる長走風穴ですが、佐々木氏の足跡を訪ねながら散策するのも一興です。

長走風穴館（☎51 2005）

開館期間・4月1日〜11月30日

開館時間・9時30分〜16時30分

休館日・毎週月曜日

6、7、8月の休館日はなし

今月のレシピ

フキのナムル



1人分エネルギー78キロカロリー

ほろ苦い風味が魅力のフキをあえ物にしてみました。にんにくとごまの香りが食欲をそそります。

- 材料**（4人分）
- フキ（ゆでたもの）……………200g
 - ニンジン……………50g
 - エノキダケ……………80g
 - にんにく（すりおろす）……………1かけ
 - しょうゆ……………大サジ1・ $\frac{1}{8}$
 - ごま油……………大サジ1・ $\frac{1}{8}$
 - 砂糖……………小サジ1
 - いり白ごま……………大サジ2
 - 塩……………小サジ $\frac{1}{4}$
 - 一味とうがらし……………少々
- 作り方**
- ①フキは4cm長さの細切りにする。
 - ②ニンジンは千切りにしてゆでて、水気を絞る。
 - ③エノキダケは半分の長さに切り、さつとゆで冷水に入れ、水気を絞る。
 - ④ボールにAを合わせ、①②③を入れて混ぜる。

一口メモ
フキは水分が96%と野菜類の中で最も多く、栄養素はあまり期待できませんが、独特な香りと歯ざわりを楽しむことができます。